

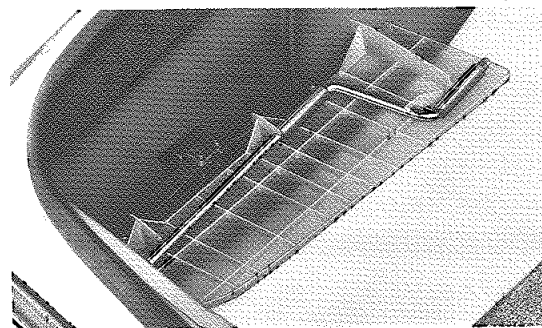
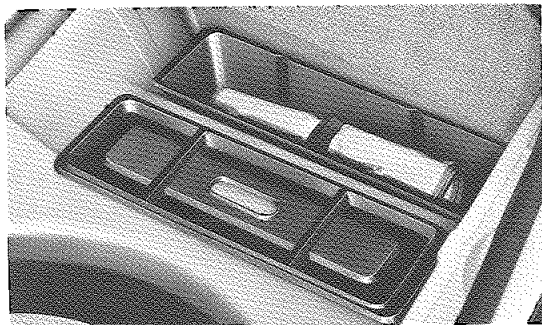


車の簡単な手入れと処置



工具とジャッキ

セダン車の格納位置



ワゴン車の工具とジャッキは、フロント・シートの下に格納されています。

タイヤ・プレッシャー・ゲージ

組スパナ

ドライバー ⊕ ⊖

プライヤー

モンキー・レンチ

プラグ・レンチ

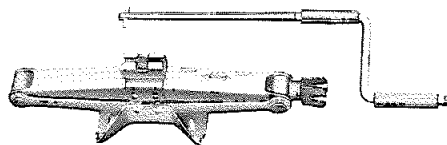
ドライバー ⊖

ハブナット・レンチ

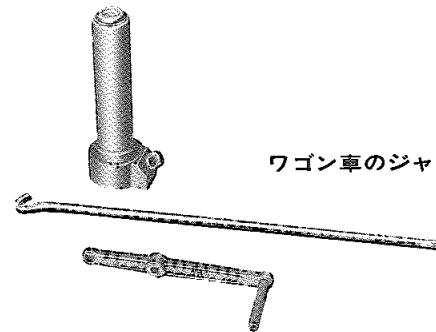
輪止め

輪止め

セダン車のジャッキ

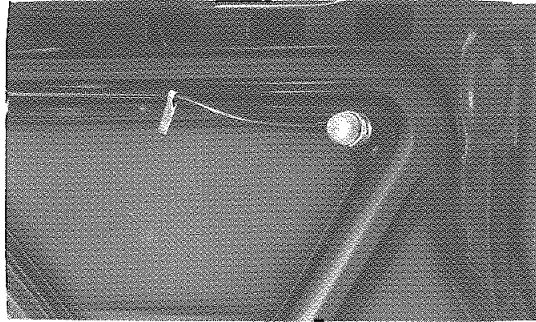


ワゴン車のジャッキ



点検灯

Ｌ車のみ



エンジン・フード裏側に、エンジン・ルーム・ランプが取り付けられています。ライト・コントロール・スイッチをONにした時に点灯します。夜間の点検などにご利用ください。

冷却水の交換

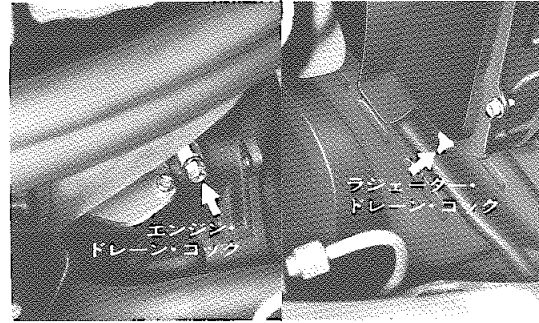
マークII車には、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年または40,000kmで交換してください。

交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

1. 図に示すエンジン・ドレイン・コック、ラジエーター・ドレイン・コックをはずし、冷却水を全部出します。



2. 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレイン・コックとラジエーター・ドレイン・コックを取り付けます。
3. ロングライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度		-15℃まで	-40℃まで
ロングライフ・クーラントの濃度		30%	50%
参考	冷却水量	M	10.8ℓ
		6R 18R	8.0ℓ

冷却水の補給

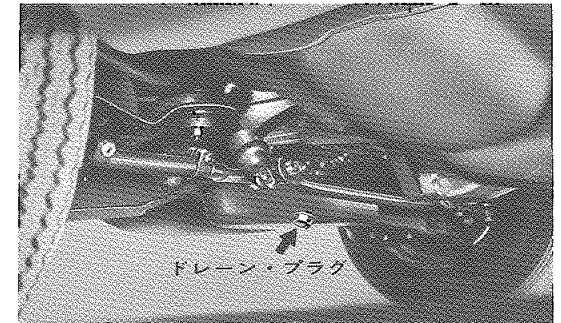
冷却水を補給する場合は上記の表の割合でロングライフ・クーラントを補給してください。

★注意

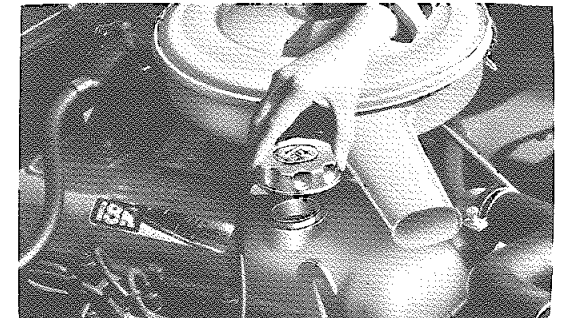
1. 新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが、異常ではありません。
2. 補給の際ロングライフ・クーラント濃度を常に30%に保ってください。

エンジン・オイルの交換

3カ月または5,000km走行ごとに交換しましょう。
1 = エンジンのドレイン・プラグをはずしてオイルを出します。



2 = エンジン・ドレイン・プラグを取り付け、オイル・ファイラー・キャップを取りはずしオイルを注入します。

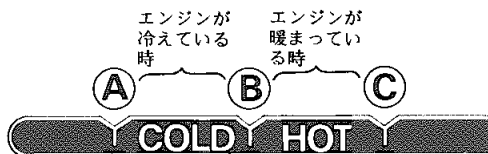


オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

オートマチック トランスミッション フルードの点検

オートマチック・トランスミッション車

- 1=車を水平な場所におき、シフト・レバーを④にしエンジンをアイドリング状態で調べます。
- 2=レベル・ゲージをきれいにふき再びもどして点検します。



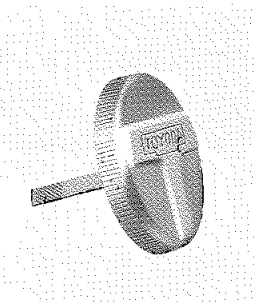
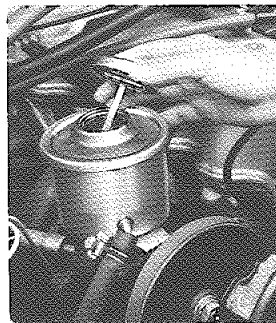
- 3=フルードが不足しているときは、規定量まで、補給してください。
- フルードはトヨタ純正キャッスル、オート・フルード・スペシャルをご使用ください。

☆注意

フルードは
規定量入れましょう。
規定量以外ですと作動がにぶくなります。

パワー・ステアリング フルードの点検

L車オプション仕様



パワー・ステアリングのフルード量は 5,000kmごとにお調べください。

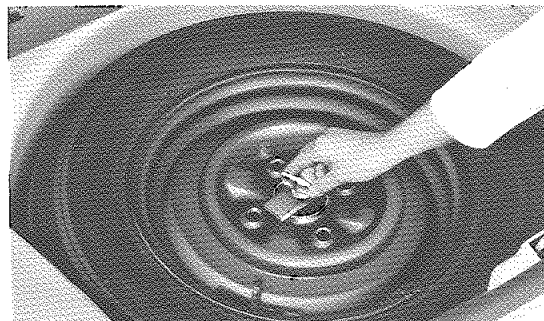
キャップを左に回して取り、フルードがキャップ・ゲージの目盛内にあるか確認します。

パワー・ステアリング・フルードには、必ずキャッスル・パワー・ステアリング・フルードをご使用ください。

パンクの処置

車を道路の左はしによせて

- 1=工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。
- 2=セダン車のスペア・タイヤは止めネジを左にまわしてとり出します。



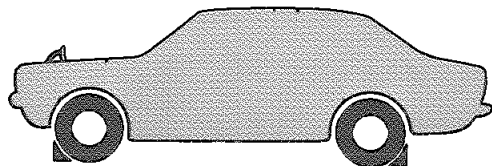
ワゴン車は、ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをおろし、スペア・タイヤを取り出します。

(スペア・タイヤ盗難防止のため、錠前等で施錠することもできます。)



3 =パンクしたタイヤと対角線にあるタイヤの前後に輪止めします。



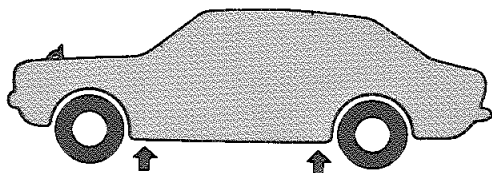
4 =ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤ近くのボデーの下に置きます。

5 =ホイール・キャップをハブ・ナット・レンチではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。

6 =ジャッキをセットします。ジャッキがはずれると大変危険ですので、図のような所定の位置(交換するタイヤに近いセット位置)に置きます。

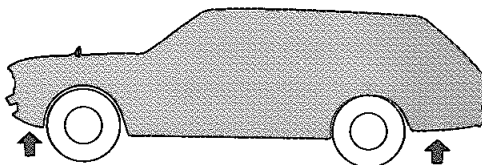
《セダン車》

交換する車輪に近いサイド・レールの切りかき部にジャッキの受けをはめます。



《ワゴン車》

サイド・メンバーの前端、後端にジャッキの受けがありますので交換する車輪に近いサイド・メンバーにジャッキをセットします。



ジャッキは地面の平らで安定できる所に、セットしてください。

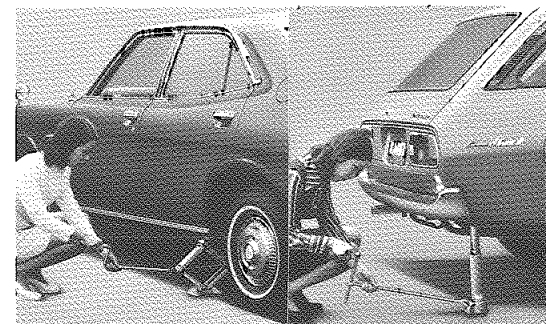
7 =ハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。ナットは手でまわる位までゆるめておきます。

8 =タイヤと地面とが少しあくまでジャッキ・アップします。

★注意

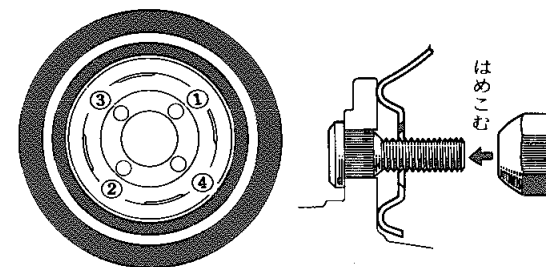
ジャッキ・アップしてからは車の下にもぐらないようにしてください。

万一、ジャッキがはずれると大変危険です。



9 =ナットをはずしタイヤをとりかえます。

10 =ナットのテーパ部がホイール穴のシート部に軽くあたり、タイヤがガタつかない程度までナットを締めます。



11 =ジャッキをはずしナットは図の数字の順序で2~3度にわたり十分に締め付けます。

12 =タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップを取り付けます。

13 =工具ジャッキを片づけパンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

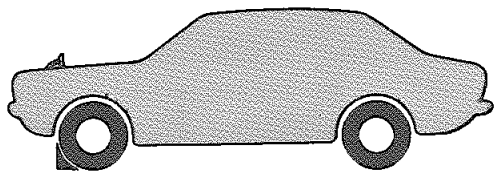
14. パンクしたタイヤは早目に修理しておきましょう。スペア・タイヤの空気圧は規定空気圧より少し高目にしておきましょう。

タイヤ チェーン

タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

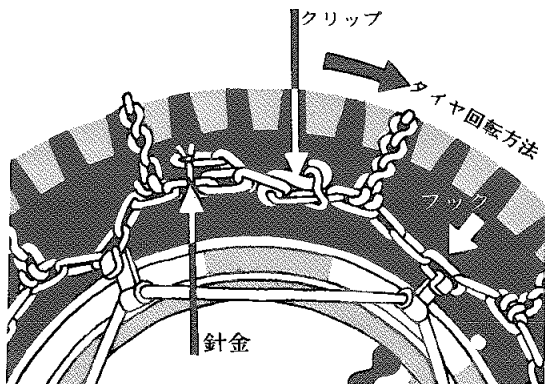
《取り付け方》

1 = 前輪に輪止めをし後輪をジャッキ・アップします。



2 = クロス・チェーンの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。

3 = チェーンを両端をいっぱい引いて連結します。余ったチェーンは、ボデーに当るのを防止するために図のように針金で結びます。



4 = チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。

5 = ジャッキをはずします。

《取りはずし方》

1 = チェーン・バンドをはずし、針金をとり内側クリップは内側から先にはずします。

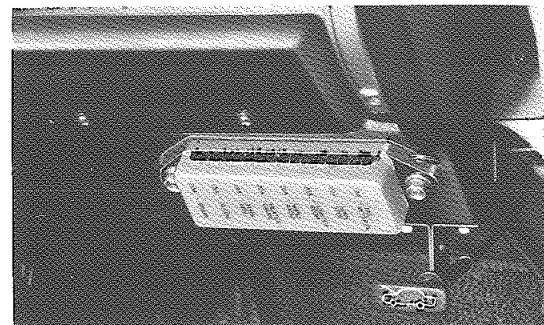
2 = 車を少し動かしチェーンを取り出します。

★注意

タイヤ・チェーンを装着して悪路を走行する場合は速度を50km/h以下で走行してください。

ヒューズ、ランプ類の交換

《故障の調べ方》



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのカバーにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズきれと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

配線に不具合のある場合はサービス工場で点検を受けてください。

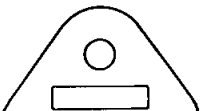
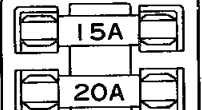
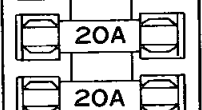
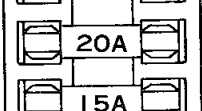
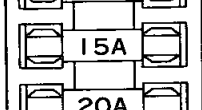
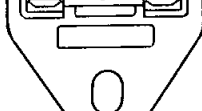
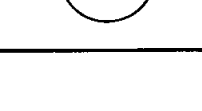

《ヒューズの交換》

1 = ヒューズ・ボックスのふたをとります。

2 = ヒューズをはずします。

3 = 切れたものと同容量のヒューズを交換します。何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

■断線したヒューズを発見するための一覧表

点灯および 作動個所		テ ー ル ラ ン プ 左 右	フ ロ ン ト の 車 巾 灯 左 右	ナ ン バ ー ブ レ ー ト ラ ン プ	コ ン ビ ネ ー シ ヨ ン メ ー タ ー 内 照 明 ラ ン プ	ホ ー ン	ス ト ッ プ ラ ン プ	駐 車 灯	シ ガ レ ッ ト ラ イ タ ー	時 計	ル ー ム ラ ン プ	ワ イ パ ー モ ー タ ー	ウ イ ン ド ウ ォ ッ シ ャ ー	ラ ジ オ	ヒ ー タ ブ ロ ワ モ ー タ ー	コ ン ビ ネ ー シ ヨ ン メ ー タ ー 内 ゲ ー ジ	バ ッ ク ア ッ プ ラ ン プ	タ ー ン シ グ ナ ル ラ ン プ	ハ ザ ー ド ウ ォ ー ニ ン グ ラ ン プ	ボ ル テ ー ジ レ グ ユ レ ー タ ー (I G 端 子)	イ グ ニ ッ シ ヨ ン コ イ ル (一 次 電 流)	E F I (メ ー ン 電 源)	E S C (メ ー ン 電 源)		
TAIL, METER		○	○	○	○																				
HORN, STOP						○	○	○																	
LIGHTER, ROOM									○	○	○														
WIPER, RADIO												○	○	○											
HEATER, GAUGE															○	○	○								
TURN, GEN																		○	○	○					
IG, COIL																					○	○	○		
SPARE																						○	○		

※1.不具合のある個所は点灯または作動しません。
 2.スペア・ヒューズはケース・カバーに(スペア・ヒューズ-15A, 20Aが各1本)があります。

■ランプの交換

フロント側



①スモール・ランプ

フロント・パーキング・ランプ(8/3.4W)

②フロント・ターン・シグナル・ランプと
ハザード・ウオーニング・ランプ(23W)

③サイド・ターン・シグナル・ランプ(8W)

※バルブ類の交換は、レンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押しこんで左に回してははずします。

バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。

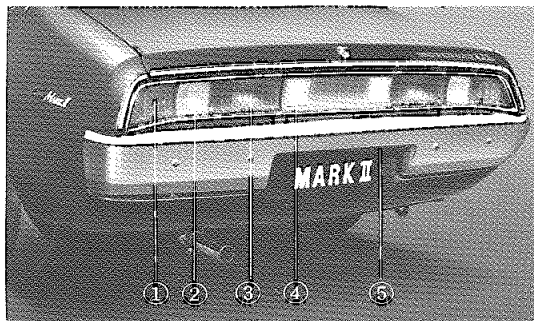
ダブル・フィラメント・バルブはポッチの位置が左右違いますのでご注意ください。

★注意

ソケットおよび接着部の錆、汚れをとってください。

リヤ

セダン車



①テール&パーキング・ランプ(7/3.4W)

②ターン・シグナル・ランプ(23W)

③ストップ&テール・ランプ(23/8W)

④バック・ランプ(23W)

※バルブの交換はトランク・リッドを開いて、トランク内のランプ・カバーのネジを⊕ドライバーではずして取ります。

ランプ・ソケットは左へまわして取り出しバルブはいっぱい押し込んで左へまわしてははずします。

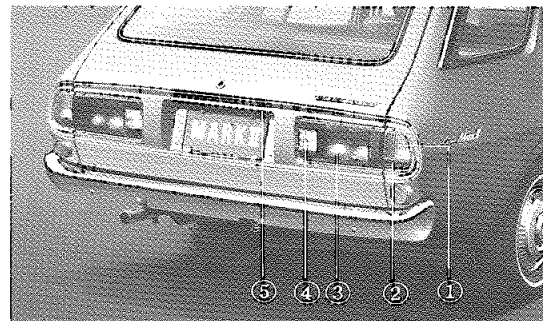
バルブをはめるときは切り欠きをあわせて右へまわします。パーキング・ランプは引っ張るとははずれます。

⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※カバーのネジ2箇所をはずしてレンズを取り、バルブをいっぱい押し込んで左にまわしてははずします。

リヤ

ワゴン車



①ターン・シグナル・ランプ(23W)

②パーキング・ランプ(3.4W)

③ストップ&テール・ランプ(23/8W)

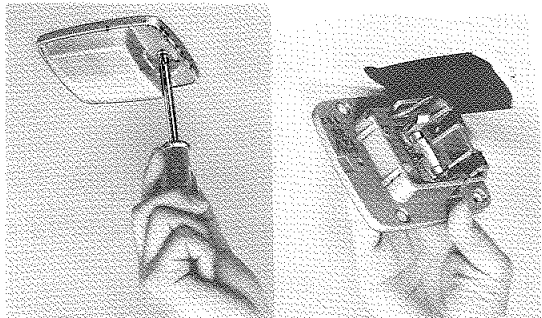
④バック・ランプ(23W)

※レンズ表面わくのネジ4個をはずしてランプをとり出し裏側から各ランプ・ソケットを左にまわしてははずし、さらにソケットからバルブをいっぱい押し込んでまわしてははずします。

⑤ナンバー・プレート・ランプ(7.5W)

※ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左にまわしてははずします。

ルーム・ランプ



ルーム・ランプ(10W)

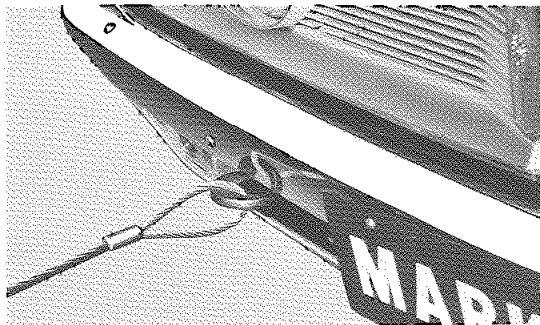
バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っ張り出して裏側からバルブを取りはずします。

けん引について

《けん引ロープをかける位置》

フロント

けん引フック（オプション）を取り付けてください。けん引フック以外には、絶対ロープをかけないでください。

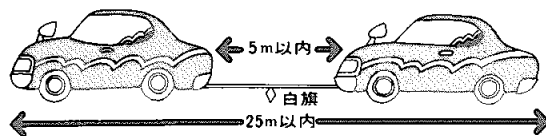


リヤ



右側のフックを使用してください。左側のフックは新車時車両輸送用のものです。使用しないでください。

《けん引のしかた》



けん引車は、急発進・急停車をしないようにし、けん引される車は、けん引車のストップ・ランプに注意し常にロープがたるまないように気をつけましょう。

塗装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときはカーシャンプーを使用しましょう。

また塩分が付着したときは必ず洗車しましょう。

ワックスがけは適時行なってください。

《洗車方法》

- 1 = 下まわりを洗います。
- 2 = 十分水をかけながらスポンジかセーム皮で汚れを洗い落とします。
- 3 = 汚れのひどいときは、ボデー温度が下がってからカーシャンプーを使用して洗います。
- 4 = 塗面に、はん点が残らないよう十分水分をふきとります。

《ワックスがけ》

- 1 = 1カ月に1度または水をはじかなくなったとき行なってください。
- 2 = 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。
- 3 = ワックスがけはボデー温度が下がってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていますのでしみになる恐れがあります。